

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	芸術文化協会補助金				
担当課係名	文化財課	芸術文化係	作成者	佐藤 人志	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護			
	主要施策	芸術文化団体の振興			100
予算費目	一般会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	4 目 文化財保護費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民のため、芸術文化を
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	仙北市における芸術文化団体の自主的活動の強化促進を図り、芸術文化の普及振興と市民文化の高揚に寄与する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	①芸術文化の普及振興 ②芸術文化功労者・団体の表彰 ③芸術文化に係る広報活動 ④加盟団体の活動促進並びに新たな地域文化の掘り起こし ⑤その他目的達成に必要な事項

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	芸術文化振興大会	目標	人	146	134	121	
			実績	人	146	134	121	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	芸文仙北 発行	目標	部	650	650	650	
			実績	部	650	650	650	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				600	500	500	
	人 件 費 (B)		—		1,571	1,614	793	
	職 員 数		—		0.20	0.20	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				2,171	2,114	1,293	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				2,171	2,114	1,293
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		14,870	15,776	10,686	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		68	67	42	

【事務事業の今までの成果】

仙北市の地域芸術文化の興隆発展と親睦、融和、活性化が図られている。また、専門分野の人材で市事業への協力が容易となる。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	市町村合併に伴い、芸術文化協会も新しく編成されている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	田沢湖、西木、角館のそれぞれの芸術文化協会の会員が、親睦と融和のもと仙北市芸術文化協会に集い、大きな組織で強化を図り、普及振興に努力している。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	市の芸術文化振興にとって要の存在であり、芸術文化振興のため支援する必要がある。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	市内の芸術文化の振興のため重要な役割を担う団体であり、今後も活動状況を踏まえつつ継続すべきと考えます。

一次評価診断図

